

薬物乱用への甘い誘いに注意！

- 1回だけなら平気さ
- クスリでちょっと遊ぼうよ
- 面白いクスリがあるんだけど
- やせられるよ
- みんなやってるよ
(やってないのはきみだけ)
- 人生は経験だ
- 眠気がとれて、勉強ができるよ
- ちょっとだけ、ためしてみない
- イライラがとれてすっきりするよ
- ただの栄養剤だよ
- 最高の気分が味わえるよ
- とりあえず、預かってよ
- お金はこの次でいいよ



ハッキリキッパリ!



その場から離れる



ひとりで悩まず、まずは相談を！

薬物に関するトラブルに巻き込まれたら、ひとりで悩まずに相談してください。
匿名での相談にも応じています。
秘密は厳守しますので、安心して相談してください。

機関名	連絡先	相談内容等
こころの健康センター	027-263-1156 【メール】 kokoro@pref.gunma.lg.jp	専門の相談員が相談に応じます。また、薬物問題を抱えた家族を支援する家族教室も開催しています。
薬務課	027-226-2665	薬物に関する様々な相談に応じます。
前橋市保健所	027-220-5782	薬物に関する一般的な相談に応じます。
高崎市保健所	027-381-6111	
県保健福祉事務所	渋川	
	伊勢崎	
	安中	
	藤岡	
	富岡	
	吾妻	
	利根沼田	
	太田	
	桐生	
	館林	
あやしいヤクブツ連絡ネット	03-5542-1865 (コールセンター)	個人輸入、指定薬物等を含む危険ドラッグに関連する事例や健康被害に関する情報の収集、提供や相談を行っています。 【URL】 https://www.yakubutsu.mhlw.go.jp/

大麻汚染深刻化！

“大麻検挙者は過去最多”
大麻検挙者の約7割が若者です。

大麻 NO!

大麻を正しく理解 していますか？

正しい知識・情報で大切な自分を守る!

薬物相談窓口、危険ドラッグ通報窓口
027-226-2665
(薬務課)

SNSでの薬物の誘いにも注意!!

近年、SNS上では大麻を意味する隠語などが使われ、大麻などの購入を促す内容が多く投稿されています。実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件が報告されています。そのような投稿を見つけても誘いには乗らないようにしましょう。

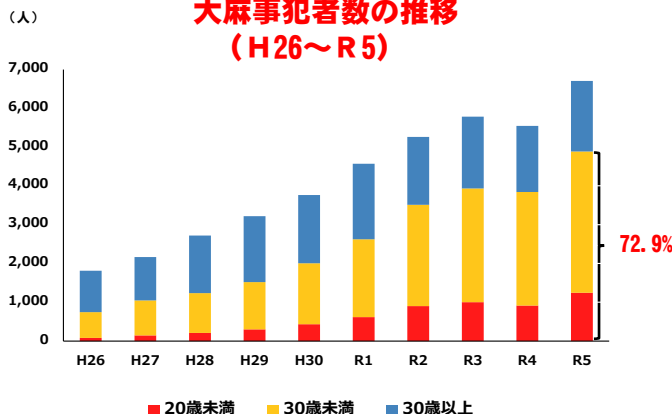
大麻乱用期

若者に大麻乱用が蔓延中！

令和5年の薬物事犯者は13,815人であり、このうち、覚醒剤事犯者は6,073人、大麻事犯者は6,703人です。大麻事犯者は、過去最多を大幅に更新するとともに、初めて覚醒剤事犯の検挙者を上回り、まさに、「**大麻乱用期**」と言える状況となっています。

大麻事犯者のうち、若者（30歳未満）が72.9%を占め、若者の間で大麻の乱用が蔓延しています。

大麻事犯者数の推移 (H26～R5)



過去10年間の大麻事犯者数の推移は上のグラフのとおりです。10年前に比べて、大麻事犯者数は約3.7倍に増加し、30歳未満の大麻事犯者数については約6.6倍に増加しています。特に20歳未満の大麻事犯者は約16倍の増加であり、大麻事犯者の急激な増加の要因になっています。

大麻事犯者の増加率 (H26とR5の比較)

	平成26年	令和5年	増加率
大麻事犯者総数	1,813人	6,703	約3.7倍
30歳未満 (割合)	745人 (41.1%)	4,887人 (72.9%)	約6.6倍
20歳未満 (割合)	80人 (4.4%)	1,246人 (18.6%)	約16倍

出典：厚生労働省 警察庁・海上保安庁の統計資料

大麻を乱用する原因

大麻に関する誤った情報がインターネットなどに氾濫していることが原因の1つとして考えられます。

「大麻は他の薬物より安全、有害ではない」などの誤った情報により大麻の有害性が軽視され、大麻の使用に繋がっています。**軽い気持ちで大麻を使用してしまうことは大変危険です。**

厚生労働省や警察などのホームページでは、大麻に関する情報が掲載されていますので、正しい知識を身に付け、自分を守ってください。

大麻に関する誤った情報（例）

少量の大麻なら依存症にならない。

ウソです。

最初は少量でも、**使い続けるうちに使用量を自分でコントロールできなくなります。**大麻は覚醒剤などの他の薬物に比べると激しい身体症状が出てくいのので、**自分でも気付かないうちに大麻依存症になっていることもあります。**特に、大麻を開始する年齢が早いほど、依存症のリスクが高いという研究報告もあります。

海外では、合法だから安全だよ。

ウソです。

海外では、大麻の使用を合法としている国もありますが、「**安全である**」と認めているわけでは**ありません。****大麻を合法化した国や地域であっても、大麻の有害性の影響を大きく受ける未成年の所持や使用は禁じられています。**また、合法とした国は、ごく一部であり、**大多数の国では違法な薬物として規制しています。**

大麻の有害性

●大麻とは・・・

アサ科の一年草である大麻草とその製品をいい、法律により規制されています。大麻の花や葉に「THC（テトラヒドロカンナビノール）」という脳に作用する成分が含まれており、大麻を乱用すると身体・精神に様々な影響があります。**特に、成長期にある若者の脳に対して影響が大きいと言われているため、注意が必要です。**

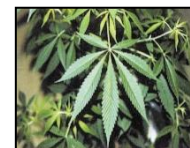
乱用による影響

- 知覚の変化：時間や空間の感覚がゆがむ
- 学習能力の低下：短期記憶が妨げられる
- 運動失調：瞬時の反応が遅れる

長期使用による影響

- 精神障害：統合失調症やうつ病を発症しやすくなる
- IQ（知能指数）の低下：短期・長期記憶や情報処理速度が下がる
- 薬物依存：大麻への欲求が抑えられなくなる

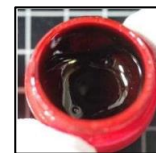
大麻の種類



大麻草



乾燥大麻（マリファナ）



大麻ワックス



大麻リキッド



大麻クッキー

出典：厚生労働省の資料

大麻から成分を抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しいタイプの加工品の摘発も増加しています。また、海外でお土産として売られているチョコレートやクッキーなどの中に大麻が含まれていることがあります。